

三宅島 農業就業体験 参加申込書

開催日：令和7年8月28日(木)～8月31日(日)

記入日： 年 月 日

ふりがな				写真貼付 ・3ヶ月以内に撮影したもの ・縦 36～40mm ・横 24～30mm ・上半身正面のもの ・写真の裏面に氏名を記入
氏名				
生年月日	年	月	日生(満 歳)	
住所	〒 -			
電話	- -			
携帯電話など日中連絡がとれる電話番号	※参加申込書内容についてご質問する場合、お電話を掛けさせていただく場合があります。ご都合の良い時間帯があれば右記にご記入ください。(連絡希望時間： 時～ 時頃)			
FAX		E-mail	@	
配偶者	☐ 有り ☐ 無し	子ども	☐ 有り()人 ☐ 無し	
現在の職業	☐ 会社員 ☐ 自営業 ☐ 契約・派遣社員 ☐ パート・アルバイト ☐ 学生 ☐ 離職中 ☐ その他()			
自動車免許の有無	☐ 自動車免許を所有している ☐ 所有していない (マニュアル車運転可能・AT車限定) *いずれかに○をつけてください			
農業経験の有無	☐ 農業で働いたことがある(アルバイト含む) ☐ 農業体験等の経験がある ☐ 経験なし			
農業への就業意向	*経験したことがある人は、その内容を具体的にお書きください。			
三宅島への移住意向	☐ 将来、農家になりたい ☐ 職業のひとつとして農家を考えている ☐ 体験してから考えたい ☐ その他()			
今回の農業就業体験への参加理由	*参加にあたっての意気込み、自己PRなどを教えてください			
農業に就業する場合の就業先の希望	☐ 就業できるならどこでも良い ☐ 離島ならどこでも良い ☐ 伊豆・小笠原諸島ならどこでも良い ☐ 三宅島が良い ☐ 現在の居住地周辺の農村が良い ☐ その他の希望() ☐ 決めていない・わからない			
今回の就業体験情報をどこで知りましたか	☐ 東京都島しょ振興公社、三宅村からの紹介またはHPをみた ☐ 農業求人サイト「農家のおしごとナビ」を見た ☐ その他のサイト() ☐ 知人、学校の先生などに紹介された ☐ その他()			
その他	*ご意見・ご質問などがあればお書きください。			

個人情報の取り扱いについて| お預かりした個人情報は、公益財団法人東京都島しょ振興公社及び当業務の事務局からのご連絡にのみ使用します。ご本人の承諾なしに第三者(委託先を除く)に提供することはありません。

申込先

公益財団法人東京都島しょ振興公社 石戸・笹川
TEL: 03-5472-6546 <https://www.tokyoislands-net.jp/news/19846>
郵送 〒105-0022 東京都港区海岸1-4-15 島嶼会館2階
E-mail kousya-g@tokyoislands-net.jp

申込締切

令和7年7月22日(火) 17時必着

面接日(2次選考)

令和7年7月29日(火) 港区海岸にて ※1次選考合格者のみ

令和7年8月28日(木)～8月31日(日)

三宅島 農業就業体験

3泊4日

三宅島の農家の仕事まるごと体験できる4日間



東京の離島・三宅島で、農ある暮らしに触れてみませんか？ 3泊4日で体験する、島の農業と人々の暮らし。
「農家を目指したい」
「土に触れる仕事が好き」
「自然の中で働きたい」
そんな想いを抱くあなたにぴったりの農業体験プログラムを開催します！



参加者募集中！
申込締切
7月22日(火)
17時必着
※参加費無料
※中面「概要」の参加費についてご確認ください。

体験内容

アシタバ、キキョウラン、パッションフルーツ、野菜など農業体験

*プログラムは変更になる場合がございます。予めご了承ください。

日程

内容

8月28日(木)

▪ 集合(場所: 三宅島船客案内所) ※集合時間: 8時45分(予定)
▪ オリエンテーション、座学、島しょ農林水産総合センター見学
▪ 島内のご案内、農場見学

8月29日(金)

▪ 農業体験 [アシタバ、キキョウラン、パッションフルーツ、野菜など農業体験]

8月30日(土)

▪ 農業体験 [アシタバ、キキョウラン、パッションフルーツ、野菜など農業体験]

8月31日(日)

▪ 意見交換 ▪ 解散(場所: 三宅島) ※解散時間: 12時00分(予定)

農業を体験し、
島を知る4日間。



海があり、山があり、 農のある三宅島の暮らしを 体感してみませんか。

概要

開催日	令和7年8月28日(木)～8月31日(日) 3泊4日
場 所	東京都三宅村(現地集合・現地解散)
対象者	真剣に農業に就業したいと考えている方(18歳未満は不可)
定 員	3名程度
参加費	無料 但し、自宅から集合場所までの交通費、期間中の昼食代は各自負担。 その他期間中の宿泊費、島内での移動費、保険料は主催者で負担し、 旅行部分(宿泊手配)は京王観光株式会社との取扱いとなります。
体験内容	栽培品目：アシタバ、キキョウラン、パッションフルーツ、野菜など農業体験 内 容：農場・ハウス管理、収穫作業など
面接日	7月29日(火)港区海岸にて ※1次選考合格者のみ

体験の様子を紹介！

【公式】東京愛らんどチャンネル

ここが東京!?
東京を飛び出して東京へ行こう！
新しいライフスタイル in 三宅島



申込の流れ

① 参加申込	裏表紙「参加申込書」にてお申し込みください
② 書類選考(1次選考)	申込締め切り後、主催者側で実施します
③ 面接(2次選考)	7月29日(火)港区海岸にて*1次選考合格者のみ
④ 参加者確定	7月31日(木)までにご連絡いたします
⑤ 農業就業体験開始	8月28日(木)～8月31日(日)

申込方法

裏面の「参加申込書」に必要事項を記入の上、(公財)東京都島しょ振興公社宛てに、郵送、E-mailのいずれかにて、お申し込みください。

申込締切

令和7年7月22日(火) 17時必着

問合せ先：公益財団法人東京都島しょ振興公社

〒105-0022 東京都港区海岸1-4-15 島嶼会館2階

担当：石戸・笹川 TEL：03-5472-6546 FAX：03-5472-6547

E-mail：kousya-g@tokyoislands-net.jp

<https://www.tokyoislands-net.jp/news/19846>

⚠ 注意事項

- *本農業就業体験は、農業就業に興味・関心のある方を対象に三宅島の農業の現場を体験することで、三宅島での農業就業、定住に対して理解を深めることを目的としており、レジャー目的の参加は固くお断りします。
- *天候不良等により延期・中止となる場合があります。ご了承ください。
- *開催期間中は、指導者の指示に従うと共に、許可なく作物や農具に触れないでください。
- *当日の服装・持参するもの等は、8月上旬を目安に資料をお送り致します。
体験時の服装・準備物(例)：汚れても良い作業着、長靴、雨具、タオルなど
- *参加にあたっては、安全に農業就業体験を実施するため、契約書をご提出いただきます。
- *渡航日前、発熱や体調不良の際は、お早めにご相談ください。

三宅島で農家になるためのステップ

三宅島で、農業を始めたいと思っている方は、島内の関係機関や地域の農業者が連携してあなたの就農を強力にバックアップします。

Step ①

体験

参加者募集中!

まずは、「三宅島 農ある島暮らし体験」へご参加ください。

Step ②

研修

三宅島で就農を希望する方へ就農のための研修支援を行います。
この研修期間中に独立へ向けた計画の作成や農地の確保も併せて行います。

Step ③

農地の確保

三宅島で農地の取得を希望される方の相談に乗ります。

Step ④

営農計画の作成

営農計画を作成するにあたっての様々な疑問にお答えします。

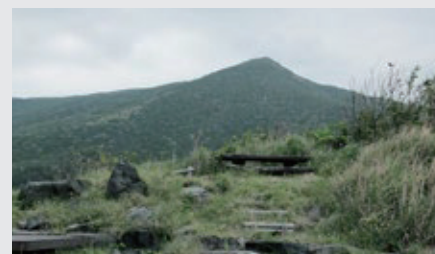
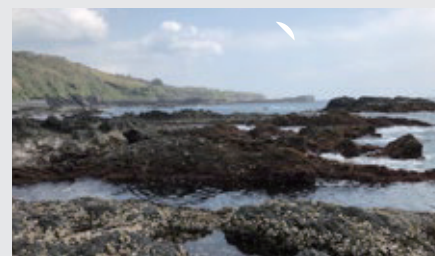
Step ⑤

就農

就農後も様々な形で皆さんの農業を支援します。



三宅島と農業



■三宅島とは

東京から南南西へ約 180km。伊豆諸島のほぼ中央に位置する三宅島は、周囲 38.0km、面積は 55.50km² で、標高 775m の雄山を最高峰とする火山島です。人口約 2,165 人。温暖多雨な海洋性気候で、年間の日平均気温 20℃。冬は暖かく、夏に涼しい気候です。

■三宅島での生活

三宅島での生活は、温暖な気候や、多種多様な生態系、豊かな海などの恵まれた自然環境など多くの魅力があります。しかし、大自然の中で生活するということは、都会での生活と異なり不便な点も多くあります。離島の天候は変わりやすく時期によっては交通機関の欠航等で生活物資が不足することもあります。また、コンビニ等はないため不便な点もあります。

■三宅島の農業

2000 年の噴火災害以前の三宅島の農業は、周年出荷の定着したアシタバが、1984 年以降栽培面積を伸ばし、伊豆諸島最大(国内最大)の産地となっていました。また、花卉観葉植物類については、レザーファンやタマシダ等の切葉が中心であり、栽培面積は年々増加していました。特に、施設でのレザーファンの栽培が増え、アシタバと並んで村の基幹作物となっていました。しかし 2000 年の噴火災害後、作物転換も視野に入れた営農再開の取り組みが行われています。現在、復旧した農地では、アシタバやサトイモ(赤芽イモ)、サツマイモ、パッションフルーツ等の作付が多くされています。また、施設の整備された所ではパッションフルーツ、コルディリーネやキキョウラン切葉類等の作付が行われています。そして新たな特産品を目指して、レモンの栽培にも取り組んでいます。



経営類型	作 目	生産量/10a
施設野菜	キヌサヤエンドウ	1,800kg
露地野菜	アシタバ	1,200kg
	サトイモ	1,500kg
施設切葉	キキョウラン	50,000枚
	その他切葉	100,000枚
路地切り枝	ヒサカキ	25,000本
施設果樹	パッションフルーツ	15,000個
	レモン	3,000kg
施設切花	球根切花	30,000本
施設野菜(混)	トマト	10,000kg

(令和5年三宅村農業基本構想より抜粋)